

GRACE
d e s i g n

m906 Downmix Option

取り扱い説明書

m906 Downmix Option

m906サラウンド・ダウンミックス・オプション（別売）がインストールされたm906では、5.1chのサラウンドソースから簡単にステレオL+Rミックスを作り出すことができます。ダウンミックスレシオはスタンダードなDolby準拠となっていますが、ユーザーによってセンターとサラウンドチャンネルのキャリブレーションも可能になります。MUTE/SOLOボタンを長押しする事でダウンミックスモードに切り替わります。

ダウンミックスモードにm906が切り替わるとLCDディスプレイに“DOWN MIX ACTIVE”と表示され、Left/RightのControl Room OutputsからダウンミックスされたL+Rソースが出力されるようになり、サラウンドのOUTPUTSはMUTEされます。さらにダウンミックスされたステレオソースはヘッドホンアウト、MON>CUEアウトにもフィードされます。

ダウンミックスのレシオはCALモード（キャリブレーションモード）での微調整も可能になっています。ファクトリーセッティング（初期設定）は以下のようになっています。

CENTER Channel downmix Ratio = -3dB

LEFT and RIGHT Surround Channel downmix Ratio = -6.0dB

downmix Ratioの微調整方法

- 1、CALスイッチをプッシュしCALモードに入る（スイッチのLEDが点滅します）
- 2、MUTE/SOLOスイッチをプッシュします。
- 3、ダウンミックスが有効になりLCDディスプレイに“DOWN MIX RATIO - CENTER”と表示されます
- 4、CALという文字がヘッドホンレベルのLCDディスプレイに表示され、メインレベルのLCDディスプレイに現在のレシオが表示されます
- 5、Main Level/Editロータリーエンコーダーでレシオを選択可能です。調整は(MUTE)、-6.0dB、-4.5dB、-3.0dB、-1.5dB、0.0dB、1.5dB、3.0dBでセレクト可能です
- 6、MUTE/SOLOボタンを再度プッシュして今度はLS、RSサラウンドチャンネルのダウンミックスレシオを調整可能です。LCDディスプレイに“DOWN MIX RATIO - LS AND RS LEVEL”と表示されます
- 7、希望の状態にキャリブレーションできたらCALモードを終了します。CALスイッチの点滅が消え

ます

ダウンミックスでのMUTE/SOLOの機能について

ダウンミックスモードが有効な場合にはSOLO/MUTEボタンの機能についても変更されます。これによってそれぞれのサラウンドチャンネルのリファレンスを計る作業がすばやく実行できダウンミックス作業に貢献します。

ダウンミックス機能が有効になるとLEFT、RIGHT、SUBのMUTE/SOLOボタンは自動的に固定され、LEFTとRIGHTが常にON、SUBチャンネルが常にOFFになります。

CENTERとLS、RSについては以下のようになります。

■SOLOモードがアクティブな場合には、SOLOになっているチャンネルはSOLOになっていないチャンネルをMUTEにします（ダウンミックスに加えられない）

■MUTEモードがアクティブな場合には、MUTEされているチャンネルはダウンミックスから除外されます。